



インスピレーションになる

# Weekly Report

2018~2019年度 No. 22

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 創立：昭和56年3月4日  
 例会場：APΛ HOTEL 名古屋錦 中区錦三丁目15-30 (052) 953-5111  
 事務局：名古屋市中区錦三丁目15-30 APΛ HOTEL 名古屋錦 560号室  
 (052) 961-2399 (直通) (052) 953-5111 FAX (052) 961-2391  
 E-mail: meihokrc@beach.ocn.ne.jp

会長：杉浦 正文 幹事：香田 研二 会報委員長：入江 由希子 題字：遠藤 友彦

クラブテーマ  
未来に向かって

## 本日の例会(第1807回) 12/8(土)

◆家族忘年会を行います。

時間：午後5時00分~受付 午後5時30分開始

場所：ホテルナゴヤキャッスル 2階 青雲の間

## 次回の例会(第1808回) 12/12(水)

◆クラブ年次総会を行います。

## 第1806回例会記録 11/28(水)晴

◆司会 玉置 正樹君

◆斉唱 RS・我らの生業

◆ゲスト紹介

国際ロータリー第2760地区奨学基金・平和フェローシップ委員会  
委員長 長谷川 龍伸様

### 出席報告

会員数	35名	前々回訂正	1804例会
欠席会員数	12名	欠席会員	8名中
出席会員数	23名	MAKE UP	2名
出席率	65.71%	出席率訂正	72.73%

### 会長挨拶

会長 杉浦 正文



今回は私の専門である歯と健康についてお話したいと思っております。古川為三郎さんが生前「不動産屋と歯医者は大事にしろ」という名言を残されたと聞きました。不動産屋はもちろんお金儲けのためです。そして歯医者というのは健康のためなのです。健康と言えば医者を大事にすることだと思っておりますが、古川為三郎さんは敢えて歯医者とおっしゃ

られたそうです。私はお会いしたことはないのですが想像できないのですが、経験的に歯が悪くなると健康を害することになるということをご存じだったのではないかと思います。歯と言えば皆さん「命には関係ないし、まあほどほどに良ければ良いだろう・・・」と思っておられると思いますが、近年私たちが思う以上に健闘と密接に関わっているということが分かってきています。残っている歯が多い老人はとてもお元気だということを歯科医の仲間の中では言われてきました。私自身も日々診療しているとそう言うことを強く感じており、とにかくパワフルな高齢な方はほぼ例外なく歯が多く残っていました。2015年に発表された論文によると65歳以上の日本人2万人以上を対象とした調査では、残った歯の数が少ない人ほど寿命が短くなることが明らかになっています。死亡率は、20歯以上の人に比べて、10~19歯の人で1.3倍、0~9歯の人で1.7倍になります。また愛知県の65歳以上の住民を3~4年間追跡した研究では、歯が多く残っている人では、認知症の発症や転倒する危険性が低いということが示されました。もう歯がないから・・・と残念がる必要もありません。きちんと治療していれば補える部分もあるのです。また歯を失い入れ歯を使用していない場合、歯が20歯以上残っている人や入れ歯によりかみ合わせが回復している人と比較して、認知症の発症リスクが最大1.9倍に上昇します。また保有する歯が19歯以下の人は、20歯以上の人と比較して要介護認定を受ける割合が1.2倍に上昇し、要介護状態になる危険性も歯が多い人ほど少ないことが分かりました。その他いろいろな病気との関連も指摘されております。歯周病は心血管疾患そして糖尿病のリスクを上昇させます。心血管疾患の発症リスクは1.14~1.75倍に高まり、歯周病は糖尿病と密接に関連しており歯周病を治療することで血糖コントロールが改善されるようです。その他口腔ケアを行うと誤嚥性肺炎のリスクが低下すると言われております。気管に入った唾液中の細菌などが肺に感染して起こる誤嚥性肺炎高齢者に多くみられます。特に要介護の高齢者などは飲み込む力や咳反射が低下しているため、唾液やプラークなどが気管に入りやすく誤嚥を起こしやすいようです。肺炎を起こすのは歯周病原性細菌などで、そのため高齢者

に口腔ケアを行い、歯周病原性細菌などの口内細菌が減少すると肺炎の発症率が下がることが報告されています。また歯の喪失は骨密度の減少に影響します。歯周病になった歯肉で産生される物質には骨代謝に影響を及ぼすものがあり歯の喪失と骨密度の減少には関連があるという研究報告もあります。やはり偉人は事の本質を本能的に見抜いているのだなと感心した出来事でした。

## 幹事報告

1. 本日は、国際ロータリー第2760地区奨学基金・平和フェロシップ委員会 委員長 長谷川 龍伸様にご来訪いただいております。後ほど卓話をしていただきます。何卒よろしくをお願いいたします。

2. 北海道胆震地震募金(35,000円)を国際ロータリー第2760地区へ送付致しました。ご協力ありがとうございました。

3. 毎年恒例のCBCチャリティ募金を受付で行っておりますので、ご協力をお願い致します。お一人、1,000円です。

4. 次回例会は、12月8日(土)、家族忘年会となっております。ホテルナゴヤキャッスル(2階「青雲の間」)にて午後5時00分より受付、午後5時30分より例会、引き続き家族忘年会を行います。尚、12月5日(水)の例会を変更して行いますので、お間違えのないようお願い致します。

## 月間卓話

### 「ロータリー財団、今、やるべきこと」

国際ロータリー第2760地区奨学基金・平和フェロシップ委員会  
委員長 長谷川 龍伸様



### ポリオプラスについて

ポリオの正式名称は「急性灰白髄炎(きゅうせいはいはくすいえん)」、一般に「小児まひ」とも呼ばれます。

1979年9月、国際ロータリーは、フィリピンで、生後3か月から36か月の子ども約600万人に対して、5か年計画のポリオ免疫活動を始めました。これが、ロータリーがポリオ撲滅に取り組んだ第一歩です。

当時、ポリオ撲滅は夢物語とされていました。そして、それから15年後の2000年、ポリオ感染数は99%減少しました。しかし、今ここで撲滅のための活動のペースを落とした場合、さまざまなリスクが生じることになります。再流行が起きた場合、2022年までに毎年20万人の子どもがポリオに感染する可能性が予測されています。また、現在ポリオフリーに認定されている国にも、再び感染が拡大することになります。

今年度、当地区では、年次基金寄付一人当たり150ドル、ポリオプラス基金寄付一人当たり30ドルを必達の目標として

掲げています。皆様のご協力をお願いします。

### グローバル補助金奨学生・平和フェロについて

皆様ご存知の緒方貞子さん、中満泉さんも元ロータリー国際親善奨学生です。

グローバル補助金奨学生は、2011年の未来の夢計画の一環として始まった新しい奨学金制度です。当地区からは、2016-17年度は1名、2017-18年度は3名の奨学生を送り出すことができました。

平和フェロは、平和構築の専門家を育成するプログラムで、2002年に始まりました。世界の6大学で定員100人(そのうちチュロンコン大学短期プログラムが50名)の狭き門ですが、当地区は、2014年度から4年連続で平和フェロを送り出しています。

財団委員会は、「世界で良いことをしよう」を合言葉に、各クラブの奉仕活動を支援させていただいている他、独自に以上のような様々な奉仕プログラムを実行しています。今後とも、財団委員会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

## ニコボックス

国際ロータリー第2760地区奨学基金・平和フェロシップ委員会 委員長  
長谷川 龍伸様(丸の内RC)

本日は財団卓話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。  
梅村美知容さん

本日、カラオケ同好会の船出です。みなさまの参加お待ちしております。

【本日は国際ロータリー第2760地区奨学基金・平和フェロシップ委員会委員長長谷川 龍伸様(丸の内RC)をお迎えしての例会です。卓話よろしくお願いいたします。】

杉浦 正文君 尾關 眞津成君 平子 明資君 北村 紀子さん  
横井 登君 西脇 良一君 岩田 満治君 西脇 多吉君  
梅村 篤君 尾関 正一君 玉置 正樹君 加藤 あつこさん  
香田 研二様 木村 雅一君 梅田 渉君 星川 直志君  
柴山 利彌君 阿部 美男君 渡邊 泰彬君 小關 敏光君  
石黒 勉君 近藤 朗君

## —CBCチャリティー募金—

皆さまご協力ありがとうございました。



去る12月5日(水)、香田幹事がCBCチャリティー募金をCBCへ寄託いたしました。